

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	県央県土整備事務所 維持管理部 維持課	氏名	維持係 係長 板垣 正明
派遣先 団体名	邑智郡田舎体験協議会		
① 研修の日時 平成27年9月17日(木) 8:30~17:00			
② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) 広島市立伴南小学校の児童約200名を受け入れた50戸程度の農家民泊先の中から、特に配慮すべき児童の宿泊先や、初めて小学生を受け入れた民泊先を巡回し、状況を確認する			
③ 研修の感想 (研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。) 研修に参加して最も印象に残ったのは、農家民泊している小学生の笑顔である。 巡回先では、小学生達が野菜の収穫、水鉄砲や竹トンボづくり、食事の準備の一環としての栗の皮むき、そばの実挽き、火起こしなどを楽しそうにおこなっていた。これらの中には私も子供の頃に経験したものも多いが、“やらされた”という意識があったこと、加えて、自然があまりに身近に存在していたこともあり、楽しいと思っただけではない。そのため、研修に参加するまでは、広島市の小学生が島根県の自然や農家体験を本当に喜ぶのか懐疑的であったが、小学生の表情にはそれ以上のものがあり、驚きであった。 ただし、このように小学生に心から楽しんでもらうためには、事前の準備が大切であろうことも切実に感じられた。今回は小学校の活動の一環であるので、小学校が求めるものと、邑智郡内の農家民泊の方々が提供できるものとのすり合わせが必要となってくる。小学生が体調を崩したり怪我をした際の体制の用意や、食物アレルギーへ配慮も必要であり、さらに50戸程度ある農家民泊先の個別の事情にも目配せが必要となる。これらの調整が適当であったかを確認するための巡回であったが、邑智郡田舎体験協議会の担当者の事前の調整がきめ細かかったこと、体調を崩す小学生がいなかったこともあり、当日は小学生の笑顔を見て回るだけの巡回となり、非常に楽しい研修となった。 農家民泊の提供者も小学生の笑顔につられるように楽しんでいらっしゃる様子が見え、こういった島根県の自然の魅力を素のままに提供する機会自体が、島根県の今後にとって価値のあるものだと実感させてくれる研修であった。			
④ その他特記事項 (※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)			

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成28年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。